

報道関係者の皆様へ

2012 年 6 月吉日

変わらない心と、あたらしい心

とらや東京ミッドタウン店ギャラリー 特別展

うつわと和菓子 -涼をたのしむ-

とらや東京ミッドタウン店は、和菓子だけではなく、和の様々な魅力や価値も広くお伝えしたいという想いから、ギャラリーを併設し特別展を開催しております。

■ 夏に向けた涼やかな器をご紹介します ■

もうすぐ太陽の日差しが輝かしい季節を迎えます。今回の特別展は、和菓子を涼やかに楽しんでいただくために、5名の作家によりつくられた器をご紹介します。

この時期ならではの和菓子とともに、これまでとは一味違った夏を楽しんでみてはいかがでしょうか。透明感が爽やかさを感じさせるガラス器、伝統技術の中にもモダンなデザインを取り入れた陶磁器。和菓子をのせた時に生まれる新たな芸術をご覧ください。

特別展概要

名 称： うつわと和菓子 -涼をたのしむ-
場 所： とらや東京ミッドタウン店内 ギャラリー
(東京都港区赤坂 9-7-4 東京ミッドタウン ガレリア地下1階)
会 期： 2012 年 8 月 1 日 (水) - 2012 年 8 月 30 日 (木)
時 間： 11:00~21:00 (店舗営業時間と同じ) ※無休 (東京ミッドタウン休業日に準じます)

【 協 力 】 (順不同・敬称略)

ガラス作家 あらかわ なおや 荒川 尚也

1978 年北海道大学農学部卒業。札幌の豊平ガラスに入社し、吹きガラスの技術を学ぶ。1981 年 京都府京丹波町にて晴耕社ガラス工房を始める。ガラスの透明な質感にこだわって、宙吹き技法の器を中心に製作。2011 年 ミラノサローネ 現代日本の工芸作家 11 人。

ガラス作家 くさだ まさき 峠田 正樹

1967 年生まれ。名古屋大学、同大学院にて土木工学を専攻。1993 年から 97 年まで(株)三菱総合研究所にて「まちづくり」の計画策定に携わる。1997 年より「ものづくり」に転身し、創作活動を展開。金沢市在住。

ガラス作家 よしだ じゅんこ 吉田 順子

武蔵野美術大学にてグラフィックデザイン専攻。1992 年切り子硝子に惹かれ根本幸雄氏に師事する。2000 年に独立し活動中。

九谷焼作家 しょうた はるみ 庄田 春海

2006 年能美市寺井町の共同工房で季器窯として制作を始める。九谷の磁器土で成形、染付や色絵で明るく軽やかに動物や植物を表現している。

九谷焼作家 なかまち いずみ 中町 いずみ

2006 年に独立し、季器窯を始める。成形と絵付けを一貫制作し、古典的な染付や動物モチーフの色絵を得意とする。九谷の技法の中で、のびのびとつくることを大切にしている。



※お菓子はイメージです。